

平山郁夫 生誕90周年記念

THE SILK ROAD

悠久のシルクロード展

～古代エジプトからアジア、そして日本へと繋がる歴史と文化の道～

A LIVING HISTORY OF INTERACTION

2022.

4.5^火～5.8^日

毎週月曜日休館

沖縄県立博物館・美術館

博物館 企画・特別展示室1・2

Museum Exhibition Room

主催：一般財団法人 沖縄美ら島財団

琉球新報社、株式会社 宣伝

総監修：吉村作治（東日本国際大学総長・早稲田大学名誉教授）

監修：平山東子（公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館館長）

企画協力：株式会社アケト、公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

協力：東日本国際大学エジプト考古学研究所、唐招提寺、

株式会社 松久宗琳佛所、和美企画

後援：沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、

沖縄テレビ放送、ラジオ沖縄

企画：株式会社 宣伝、株式会社 C-STYLE

題字：植木白光

総監修 考古学者

吉村 作治

（東日本国際大学総長
早稲田大学名誉教授）



沖縄初上陸
絵画と至宝
116点
一堂に展示



古代エジプトからアジア、そして日本へと繋がる歴史と文化の道 絵画と至宝116点一堂に展示。

平山郁夫
生誕90周年記念
考古学者 吉村作治 総監修

Prologue

かつて東西の交通路として栄えたシルクロード。この名称は19世紀にドイツの地理学者リヒトホーフェンがその著書『China (支那)』(1巻, 1877年)においてドイツ語で「絹の道」の複数形を表す「ザイデンシュトラーセン」使用したのが最初です。

その名の通り、シルク(絹)の産地中国から、はるかローマに及ぶ壮大な交易路を指します。この道を通して文物だけではなく、情報や学術等の文化、そして人々などありとあらゆるものが行き交うことで、世界は豊かになりました。そしてシルクロードは、ローマを経てエジプトの地へ、さらに中国、韓国を経て日本へ達し、文化、情報、人間の道となったのです。そして、沖縄も琉球王国時代の交易にて少なからず影響を受けています。

本展では、シルクロードの地を愛してやまなかった故平山画伯の作品と、選りすぐりの至宝を116点ご紹介いたします。尚、また、特別展示として、鎌倉初期から室町時代に制作された初公開の日本の仏像や、京都の大佛師(四天王寺大仏師・成田新勝寺大佛師)松久宗琳が制作した貴重な仏像を展示、さらに奈良の唐招提寺におさめられている平成時代の仏像彫刻家による薬師如来立像を合わせてご紹介いたします。この機会に7千キロにもおよぶシルクロードが生み出した悠久の歴史に想いを馳せていただければ幸いです。



シルクロード行くキャラバン東・太陽
2005年/紙本彩色/171.0×364.0cm



菩薩坐像
クシャーン朝/2~3世紀/パキスタン、ガンダーラ/
灰色石片/高さ43.8cm、幅26.6cm



牡鹿像
グレコ・バクトリア時代/
前2世紀/アフガニスタン、バクトリア/
金、トルコ石/高さ9.2cm、幅10.3cm



赤像式アンフォラ
クラシック時代/前450~前440年頃/
ギリシャ、アテネ/土器/
高さ35.1cm、幅17.8cm、口径10.9cm



シルクロード行くキャラバン西・月
2005年/紙本彩色/171.0×364.0cm



ラスター彩植物文大皿
セルジューク朝/11~12世紀/イラン、サーヴェ/
陶器/高さ8.1cm、径34.1cm



女神頭部(デメテル)
クラシック時代/前4世紀後半/
イタリア、シチリア/テラコッタ
高さ26.7cm、幅17.7cm、口径10.1cm



平山郁夫

昭和5年(1930)、広島県瀬戸田町(現 尾道市)に生まれる。東京美術学校(現 東京藝術大学)日本画科卒業、前田青邨に師事。仏教をテーマとした名作を発表し、さらに地中海から中近東、インド、中央アジア、中国などを旅し、壮大かつ幻想的なシルクロードを描き、戦後の日本画壇に大きな足跡を残す。画業とともに、文化財保護活動などの社会貢献も積極的に行い、平成元年(1988)には東京藝術大学長に就任、平成10年(1998)、文化勲章受章、長きにわたるユネスコ親善大使(1988-2009)を務めた。



吉村作治

東日本国際大学総長、早稲田大学名誉教授(工学博士)昭和41年(1966)アジア初のエジプト調査隊を組織し約半世紀、発掘調査を継続。第二の太陽の船の発見など多くの世界的な成果をあげ、現在もGPRやドローンを活用しクフ王墓探索などを実施。研究テーマはエジプト考古学はもとより比較文明学、日本の祭り、eラーニング教育など多岐にわたる。

公式HP「吉村作治のエジプトピア」
<http://www.egypt.co.jp>



松久宗琳

大正15年(1926)、仏師・松久朋林の長男として、京都市に生まれる。本名・武雄。幼少より日本画を学び、仏絵師の門に入るも、病のため父の膝下に帰って、仏師としての道を歩む。大阪・四天王寺中門の仁王像、滋賀県・延暦寺大講堂の三尊仏、京都・鞍馬寺の三尊仏、京都・大覚寺の五大明王像、金閣寺の岩屋観音と四天王、大阪・四天王寺講堂の丈六仏、聖徳太子像、生駒聖天の文殊菩薩像、高野山東塔大日如来他二体、千葉成田山新勝寺五大明王(造像史上最高の大きさであり、最高傑作との高い評価を受ける)などの彫造に従事。平成4年(1992)3月死去。現在、二女である松久佳遊生が継承。

悠久の歴史の道

【観覧料 Fee】

一般	Adult	¥1,300	(¥1,100)
大学・高校生	Col. & Univ. and H. S. Students	¥900	(¥720)
中学・小学生	J. H. and E. S. Students	¥500	(¥400)

※()内は前売料金 ※障がい者手帳をお持ちの方、および介助者の方は当日料金の半額 ※未就学児は無料
*Prices shown in () indicate advanced tickets. *50% discount for persons with disabilities (with presentation of the physical disability certificate) and one caretaker. *Persons under Elementary School students are free.

【休館日 Closed】

毎週月曜日
Every Monday

【開館時間 Hours】

9:00~18:00(金・土は20:00まで) ※入場は閉館の30分前まで
9:00~18:00 (Open until 20:00 on Friday and Saturday.) *Last entry 30 minutes before closing.

【前売券のお求めは】

ミュージアムショップゆいむい(沖縄県立博物館・美術館内)、コープあぶれ、デパートリウボウ、ファミリーマート(イープラス)、セブンイレブン(セブンチケット3/12から販売)まで

